

七飯町内会連合会が活動

集めた義援金433万円に

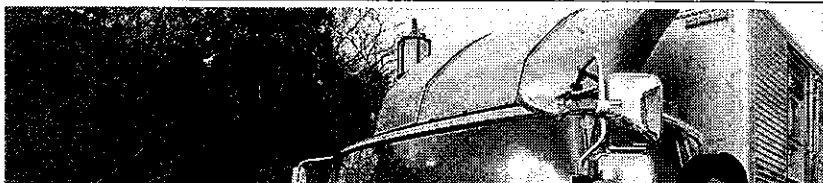
【七飯】東日本大震災被災地への募金活動を行っている七飯町内会連合会(寺沢久光会長、71町内会)は3月31日、各町内会から集めた義援金433万272円を町社会福祉協議会の大竹幸次郎会長に手渡した。活動開始から10日間で集めたという、寺沢会

長(76)は「七飯町民が被災者のために優しい気持ちで協力してくれたことをうれしく思っている」と話している。同連合会は大震災の発生を受けて、3月18日に各町内会に義援金活動を呼び掛け、各町内会の会長や班長らが各戸を訪問。親族や知人が被災した、連日の報道に心を痛めている住民も多く、積極的な協力が得られたという。中間集計を行った30日までに49町内会から430万円が集まった。活動継続中の町内会があり、総額はさらに増える見通しだ。

同社協を訪問した寺沢会長ら役員4人は「犠牲になった方々の冥福を祈ります。被災地の人々には一日も早く希望の力をつけて、復興のために頑張ってもらいたい」と話し募っている。(今井正一)

各町内会の募金活動は4月末まで継続し、義援金は、同社協から中央共同募金会を通じて被災地支援に役立てられる。また、同社協では町内各所に募金箱を設置し、寄付を募っている。

4月末まで継続



町の善意 被災地に届け



大竹会長(手前)に義援金の目録を手渡す寺沢会長ら町内会連合会役員

姉妹都市に物資

「町民の思い届ける」

【松前】東日本大震災を受 島県伊達市に支援物資を届け、町は1日、姉妹都市の福

員3人を同市に届けた。3日までに

15日まで

【木古内】東日本大震災の被災地を支援しようと、木古内町社会福祉協議会など5団体は、町内で募金活動を開始した。4月15日まで各町内の班長が各家庭を訪問し、義援金を募る。

募金活動を行っているのは、社協のほか、町内会連合協議会と町共同募金委員会、

日本赤十字社木古内クラブ連合会の家庭を訪問するほか、町スポーツセンター健康施設「いさりの」を設置し、義援金を呼び掛けている。

社協内のボランティアでも今後、町トなどで街頭募金する予定。

町共同募金委員会

協力呼び掛け

木古内社協など5団体

